

平成 29 年 8 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C K グ ル ー プ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 崎 秀 則  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8 )  
問 合 せ 先 取 締 役 統 括 本 部 長 森 田 信 彦  
T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

## ACKグループ全社一斉防災訓練を実施

当社は、社会インフラ整備に携わる企業として、地域の災害復旧にいち早く貢献することを目的に、平成 29 年 8 月 31 日にグループ各社の全国 20 ヶ所以上の拠点で、全役職員参加による『全社一斉防災訓練』を実施いたしました。

今年は、午前中に、最大規模の地震発生により、“全拠点が被災した場合を想定した訓練”を実施し、午後からは、中部地方東部を中心とした集中豪雨による局地的な被害を想定し、“顧客からの支援要請への対応”についても訓練いたしました。

地震に対する訓練では、各拠点に現地災害対策本部を設置し、「役職員の安否確認」「初動対応における役割分担の明確化」「事業復旧時期の判断」「従業員の帰宅可否の判断」「帰宅困難者への備蓄品の配布」など、初動対応の一連の流れを確認いたしました。

「役職員の安否確認」では、夕刻には役職員 1,927 名の安否を確認することができました。また、ACKグループ本社に災害対策本部を設置し、グループ各社の災害対策委員会から報告される各種情報の対応・判断についても訓練いたしました。

豪雨被害に対する訓練では、当社グループの強みを活かした支援活動ができるよう、各社の連携体制を定めた「BCP 顧客対応編」に沿って、被災した地域に近い拠点が中心となり、「各社の連携手順の理解、実践」をテーマに実施いたしました。

当社グループは、今回の防災訓練で洗い出された課題を更なる改善に役立て、引き続き確実な事業継続に向けて行動すると共に、顧客からの災害支援要請に応えることで、地域の災害復旧にいち早く貢献できるように行動してまいります。

以上



現地災害対策本部の様子